



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月8日

上場会社名 昭和鉄工株式会社 上場取引所 福  
 コード番号 5953 URL <http://www.showa.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本駿一  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 山根譲治 (TEL) 092-651-2931  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	2,009	△11.6	△218	—	△228	—	△231	—
24年3月期第1四半期	2,273	△6.1	△140	—	△130	—	△147	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △376百万円(—%) 24年3月期第1四半期 △157百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△27.47	—
24年3月期第1四半期	△17.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	13,286	2,502	18.8
24年3月期	14,108	2,904	20.6

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 2,502百万円 24年3月期 2,904百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,000	3.6	△300	—	△300	—	△320	—	△37.91
通期	12,000	8.3	60	79.2	60	157.5	40	△45.3	4.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区分することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	8,970,000株	24年3月期	8,970,000株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	529,607株	24年3月期	528,449株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	8,440,546株	24年3月期1Q	8,442,668株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興関連需要やエコカー補助金という政策効果に支えられ、国内需要を中心に緩やかな景気回復基調が見られたものの、長引く欧州債務問題や円高の長期化、株価の低迷や電力供給不足への懸念等により先行き不透明な状況で推移しました。

このような情勢の中で当社グループは、中期経営計画「リカバリー130」の3年目の年として、重点課題である「差別化した新製品・サービスの拡販」に努めるとともに、固定経費の徹底した削減等に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、20億9百万円(前年同期比11.6%減)となりました。

損益面につきましては、予算の見込みどおり、経費の削減・原材料費の低減等が寄与したものの、主に売上減少により、営業損失は2億1千8百万円(前年同期は営業損失1億4千万円)、経常損失は2億2千8百万円(前年同期は経常損失1億3千万円)、四半期純損失は2億3千1百万円(前年同期は四半期純損失1億4千7百万円)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。当第1四半期連結会計期間より報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

## ・機器装置事業

機器装置事業につきましては、空調機器では「ファンコイルユニット」の受注・売上、熱源機器では「業務用エコキュート」の売上が拡販努力により好調に推移しました。また、環境機器のうち「空気清浄機」の売上が順調に推移しましたが、サーモデバイス機器では前年同期のような受注案件がなかったことから低調に推移しました。この結果、当事業の売上高は12億3千2百万円(前年同期比20.6%減)となりました。

## ・素形材加工事業

素形材加工事業につきましては、景観製品は予定していた案件の発注遅れ等もあり、やや低調に推移しましたが、鋳造品はガスタービン関連部品の売上が順調に推移しました。この結果、当事業の売上高は3億4千6百万円(前年同期比4.1%増)となりました。

## ・サービスエンジニアリング事業

サービスエンジニアリング事業につきましては、リニューアル工事及び設備工事が順調に推移しました。この結果、当事業の売上高は4億3千万円(前年同期比10.7%増)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ8億2千2百万円減少し132億8千6百万円となりました。主な要因は、投資有価証券が1億4千3百万円増加したものの当第1四半期末は前連結会計年度末に比べ直近の売上が少ないため売上債権が9億9千3百万円減少したことなどによります。

負債については、前連結会計年度末に比べ4億1千9百万円減少し107億8千4百万円となりました。主な要因は、当第1四半期末は前連結会計年度末に比べ直近の資材調達等が少ないため仕入債務が3億7千万円減少したことなどによります。

純資産については、前連結会計年度末に比べ4億2百万円減少し25億2百万円となりました。主な要因は、四半期純損失2億3千1百万円を計上したことによる減少と株価の下落によるその他有価証券評価差額金の減少1億6千1百万円によるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成24年5月14日公表時から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,042	2,771
受取手形及び売掛金	4,374	3,380
商品及び製品	174	299
仕掛品	730	810
原材料	337	350
その他	126	184
貸倒引当金	△8	△7
流動資産合計	8,777	7,788
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,678	1,678
その他(純額)	1,325	1,358
有形固定資産合計	3,004	3,037
無形固定資産	25	24
投資その他の資産		
投資有価証券	1,735	1,878
その他	627	611
貸倒引当金	△62	△54
投資その他の資産合計	2,301	2,436
固定資産合計	5,331	5,497
資産合計	14,108	13,286
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,615	2,244
短期借入金	4,607	4,206
未払法人税等	35	8
その他	819	782
流動負債合計	8,078	7,242
固定負債		
長期借入金	938	1,327
退職給付引当金	1,617	1,629
その他	570	585
固定負債合計	3,126	3,542
負債合計	11,204	10,784

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,641	1,641
資本剰余金	1,225	1,225
利益剰余金	374	117
自己株式	△86	△86
株主資本合計	3,154	2,897
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△227	△388
為替換算調整勘定	△23	△7
その他の包括利益累計額合計	△250	△395
純資産合計	2,904	2,502
負債純資産合計	14,108	13,286

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	2,273	2,009
売上原価	1,801	1,615
売上総利益	472	393
販売費及び一般管理費	612	612
営業損失(△)	△140	△218
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	21	19
その他	15	3
営業外収益合計	37	26
営業外費用		
支払利息	22	22
その他	5	13
営業外費用合計	27	35
経常損失(△)	△130	△228
特別損失		
貸倒引当金繰入額	11	—
特別損失合計	11	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△141	△228
法人税、住民税及び事業税	5	3
法人税等合計	5	3
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△147	△231
四半期純損失(△)	△147	△231



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△147	△231
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19	△161
持分法適用会社に対する持分相当額	8	16
その他の包括利益合計	△10	△144
四半期包括利益	△157	△376
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△157	△376
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	機器装置事業	素形材加工事業	サービスエンジニアリング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	1,551	333	388	2,273
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	3	7	13
計	1,554	336	396	2,287
セグメント損失(△)	△56	△65	△19	△140

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△140
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△140

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	機器装置事業	素形材加工事業	サービスエンジニアリング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	1,232	346	430	2,009
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	2	11	16
計	1,235	349	441	2,026
セグメント損失(△)	△127	△90	△0	△218

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△218
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△218

3. 報告セグメントの変更等に関する事項  
(セグメント区分方法の変更)

従来のサーモデバイス事業については、平成23年度に実施した事業構造改革に伴い、経営管理上採用している区分の見直しを行い、機器装置事業へ統合しております。また、従来、機器装置事業部が所管していたサービスマンテナンス事業については、中期経営計画を実行するための組織変更が完了したため、経営管理上採用している区分の見直しを行い、独立したセグメントとするものであります。

報告セグメントにおきましては、従来は「機器装置事業」、「素形材加工事業」、「サーモデバイス事業」としておりましたが、当第1四半期連結累計期間から「機器装置事業」、「素形材加工事業」、「サービスエンジニアリング事業」としております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。